

宇宙の仕事は 地上が主役

宇宙に関わる仕事の大半は地上にあります。職種の全体像と、いまの経験を読み替えて入るルートを整理します。

ぼくを動かしていたのは、ずっと地上にいる人たちだったんだ。
宇宙の仕事の主役は、みなさんの足元にいるんだよ。



宇宙飛行士は「宇宙の仕事のほんの一部」

JAXAの説明

ほんの一部

JAXA有人宇宙技術部門「宇宙のしごと」より

- つくる技術職
ロケット・人工衛星・射場設備・地上の管制システムの開発
- 支える事務系
契約・調達業務、事業推進、事務支援職員として組織に位置づけ

入口の数では、宇宙飛行士以外のほうが多い

つくる→動かす→使うで変わる技術領域



右へ行くほど、宇宙以外の経験が通じる場面が増える

公的統計で見る宇宙開発技術者

年収（job tag掲載値）

611.9 万円

令和7年賃金構造基本統計調査を加工。平均年齢43.9歳

- 一人前まで
最多は3年超～5年以下（21.7%）。「必要でない」も17.4%
- 読むときの注意
必ずしもその職業のみの統計ではないという注記付きの数値

相場観の出発点であり、実額として扱わない

いまの経験は、公募職務に読み替えられる

いまのスキル

対応するJAXAキャリア採用の掲載職務

組み込み・制御ソフトウェア



H3ロケット等に適用する自律飛行機能等の開発業務

通信・ネットワーク



人工衛星等の追跡ネットワークシステム（地上）に関する研究開発業務

情報システム・セキュリティ



プロジェクトネットワークの構築・維持・運用及び情報セキュリティに関する業務

品質保証・信頼性



人工衛星システムのミッション成功に向けた安全・信頼性向上活動に関する業務

まとめ | 宇宙の仕事は地上の技術と事務が支えている

01 宇宙の仕事の大半は地上にある。JAXA自身が宇宙飛行士を「ほんの一部」と説明

02 学歴・年収はjob tagで確認できる。ただし当該職業のみの統計ではない

03 制御、通信、セキュリティ、品質保証、調達の経験は公募職務に対応する

気になった職種をひとつ選び、
その募集要項を最後まで読んでみましょう。

宇宙は、行った人だけのものじゃない。
ここから支える人のものでもあるんだよ。

